



2018年1月5日

株式会社リプロセル

代表取締役社長 横山 周史

2018年 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

リプロセルは今年で設立より16年目を迎えることができました。これも皆様の多大なるご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

iPS細胞を活用した病態解明や再生医療への応用は年々進んでおり、ますます市場規模は拡大しております。

当社グループでは、英国において新施設「Centre for Predictive Drug Discovery」の開設や米国の主要ながん研究施設Fox Chase Cancer Centerとの提携などによって、iPS細胞事業の展開を積極的に行いました。

さらに、昨年はiPS細胞を利用した再生医療の共同研究にも新たに着手いたしました。本研究では、筋萎縮性側索硬化症(ALS)や横断性脊髄炎(TM)を対象疾患として製品開発を進める予定です。どちらも効果的な治療法は確立されておらず、新たな治療法の開発が望まれています。

今後当社グループのiPS細胞事業を通して、少しでも早く新しい治療法をお届けできるよう、全力を尽くしてまいります。

今年は、引き続き世界最先端のiPS細胞技術を活用して事業を推進するとともに、再生医療の開発についても積極的に進めてまいります。

最後に、皆様におかれましても、幸多き年になりますよう役職員一同祈念しております。

以 上